

桜の通り抜け ...大阪造幣局

造幣局は、近代国家としての貨幣制度の確立を図るため、明治新政府によって大阪の現在地（大阪市北区）に創設され、明治4年4月4日に創業式を挙行し、当時としては画期的な洋式設備によって貨幣の製造を開始しました。

その頃我が国では、機械力を利用して行う生産工業が発達していなかったため、大型の機械設備は輸入するとしても、貨幣製造に必要な各種の機材の多くは自給自足するよりほかなかったので、硫酸、ソーダ、石炭ガス、コークスの製造や電信・電話などの設備並びに天秤、時計などの諸機械の製作をすべて局内で行っていました。また事務面でも自製インクを使い、我が国はじめての複式簿記を採用し、さらに風俗面では断髪、廃刀、洋服の着用などを率先して実行しました。

このように、造幣局は、明治初年における欧米文化移植の先駆者として、我が国の近代工業及び文化の興隆に重要な役割を果たしたので、大阪市が今日我が国商工業の中心として隆盛を見るようになったのも、造幣局に負うところが少なくないといわれています。

その後、造幣局は、貨幣の製造のほか、時代の要請にこたえて勲章・褒章及び金属工芸品等の製造、地金・鉱物の分析及び試験、貴金属地金の精製、貴金属製品の品位証明（ホールマーク）などの事業も行っています。

工場・博物館見学は予約制になっています。個人・団体を問わず受け付けておりますので、事前に電話でお申込み下さい。

造幣局 Japan Mint 公式サイト：<http://www.mint.go.jp/>

桜の通り抜け：<http://www.mint.go.jp/enjoy/toorinuke/sakura-osaka2016.html>